

「難病」に対する“ホリスティックケア”連続講座 ～第2回：難病の治療編～

関東フォーラム委員会では、ホリスティック（全体的）な視点から健康を考える「ホリスティック・セルフケア講座」を開催しています。今年は、膠原病や神経疾患などのいわゆる「難病」をテーマに取り上げ、**第1回：難病の原因編、第2回：難病の治療編、第3回：難病のある方の社会参加（就労）支援編**の3回連続講座を設定いたしました。

難病に対して、現代医学や現在の社会制度を確認しながら、よりホリスティックな視点からまずは「原因」を考え、次に「治療」について代替医療も含めて幅広い視点で検討し、最後に難病の方の社会参加（就労）について経済的な意味合いだけでなく、治療的な意味合いも含めてホリスティックな視点から検討していきます。

2回目は、難病の「治療」について学んでみたいと思います。また、毎回お二人の講師のレクチャーの後には多面的に理解を深めるために、**対話<ダイアログ>**を行います。

★13：30～14：30「難病に対する統合医療の実践」

吉田智彦（世田谷リウマチ膠原病センター院長）

膠原病のような難病のホリスティックな治療、セルフケアはどのようにすればいいのでしょうか。吉田智彦氏は、日進月歩の現代医学から代替療法も含めた統合医療の立場から難病の治療に取り組まれています。前半では、吉田智彦氏がなされている統合医療の視点からの臨床の実践を紹介していただきます。

★14：40～15：40「難病に対する臨床心理の立場からの治療論」

本宮輝薫（心身一体療法研究所主宰、当協会理事）

“心身一如”という言葉があるように、心理や精神面が大きく健康に影響するといわれています。後半では、臨床心理学や東洋哲学の立場から、難病の治療法に対する知見を本宮輝薫氏より解説していただきます。ホリスティックな視点から、霊性 spirit も含めた幅広い観点に立って治療論を展開していただきます。

★15：50～16：45<ダイアログ> 吉田智彦×本宮輝薫

（進行） 藤野多生（タオネット主宰、当協会理事）

<会場案内図>



■日 時：2014年6月8日(日)13:30～16:45

■場 所：ISFnet サポートトレーニングセンター

（港区赤坂 7-1-16 日本生命赤坂第二ビル 2 階）

※銀座線・半蔵門線青山一丁目駅郵便局方面出口から徒歩7分、青山通り草月会館となり

■参加費：3回連続 会員 6,000円 一般 9,000円

単回参加 会員 2,500円 一般 3,500円

■申し込み手順

1. 必要事項(1 氏名、2 住所、3 電話、4E-mail、5 会員か一般かの種別)を記入の上、ho-kanto@tg.rim.or.jp まで(締め切り3/28(金))。または、FAXでお申し込み下さい(03-5572-8219)。

2. 申し込み受理のお知らせが到着後 1 週間以内に参加費をお振込み下さい(1 週間以内に連絡がない場合はお問い合わせ下さい)。

三菱東京UFJ銀行 西新宿支店(普通)0057567
特定非営利活動法人日本ホリスティック医学協会

3. お振込み後、受付完了となります。お振込後の参加費はご返却できませんので代理受講でご対応をお願い致します。

◎<第1回：難病・原因編>4/6(日)13:30～16:45 舟久保ゆう(埼玉医大准教授、本宮輝薫(心身一体療法研究所主宰))

◎<第3回：難病・支援編>7/13(日)13:30～16:45 伊藤美千代(東京医療保健大学)、降矢英成(赤坂溜池クリニック院長)

◎4/6も申し込み受付中で、3回連続の申し込みも受付中です。